

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公開番号】特開2011-232290(P2011-232290A)

【公開日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2010-105300(P2010-105300)

【国際特許分類】

G 01 N 21/35 (2006.01)

【F I】

G 01 N 21/35 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

皮膚は、表皮、真皮及び皮下組織の3層から構成されている。さらに、表皮は角層、顆粒層、有棘層及び基底層の4層から構成され、外気と接している角層は、水分保持機能やバリア機能という極めて重要な役割を果たしている。かような重要な機能を有する角層(以下において、角層を構成している1~数十枚の角層細胞も含む意味である)の成分を計測評価することは、極めて重要視された課題であった。皮膚成分の測定に関しては、既に近赤外線を用いて皮膚水分濃度を計測する技術(例えば、特許文献1参照)、ラマンスペクトルを用いた皮膚水分量を計測する技術(例えば、特許文献2参照)、第2高調波発生光(SHG光)を用いて真皮等の皮膚内部の変化に起因する皮膚のしわの状態を計測する技術(例えば、特許文献3参照)等の非侵襲的光学的技術が開示されている。しかし、角層に対しては、かのような技術は全く知られていなかった。